

自己評価結果報告書

令和 3 年 2 月 26 日

1 事業所情報

事業所の名称	みらくる		
事業所番号	4650003504		
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス
所在地	薩摩郡さつま町宮之城屋地2117-1		

2 公表状況

公表日	令和	3 年	2 月	26 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	(URL	http://hiiragikai.net)
	<input type="checkbox"/>	会報等	()
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	(事業所に掲示)

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	作田 志穂
連絡先 (TEL)	0996-53-2940

※公表している自己評価表を添付すること。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 2月 24日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 みらくる 保護者等数(児童数) 21名(未渡し4名) 回収数 17名 割合81%

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	6	1	・新しい施設になるので分かりません。 ・外のスペースが狭くアスファルトで怪我をしやすい。 ・外活動の場が狭い ・砂場や芝の庭があると嬉しいです。	令和3年6月から新築移転し改善予定
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3	0	・活動をいろいろ検討して頂いている。 ・子供の数が増えてきたので職員も増やしてほしい。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	8	0	・新しい施設になるので分かりません。	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12	4	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	5	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	9	2	・あまりないように思える。(コロナの影響もある?) ・ただし、児童館等は年齢が低学年なので、特に交流して欲しいとは思いません。	今後、行事等で地域交流に努めたいと思います。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	3	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	3	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	4	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	4	5	・他の保護者の方々をあまり知りません。 ・コロナの関係だと思いますが、保護者会はないです。 ・コロナ禍なので開催されても参加を考えるとしょう。 ・今後は、親の会も発足した方が良いと思います。	保護者会開催は検討いたしましたが、コロナで開催できませんでした。来年以降は、定期開催を予定しています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	4	0	・担当者会議に参加いただき、子供についてお話をもらっている。	今後も継続していきたいと思っています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	6	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3	1		
	14 個人情報に十分注意しているか	13	3	0		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	6	2	・マニュアルを見たことがありません。	掲示していますが、場所等を周知していく
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	7	2	・記憶の限り、訓練を行った覚えがありません。	
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	3	0	・職員との関りは楽しいようですが、お友達との関りが難しいようです。	成長段階に合わせた支援を心掛けていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	12	4	0	・環境が整うので楽しみです。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 24日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 みらくる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			新築移転して6月から稼働予定。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	付き添い等を行い安全配慮を行っている。	トイレがバリアフリーになっていないが、令和3年6月から移転しバリアフリーになる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎週月曜日に、定例会を実施している。	職員の意見等も聞き入れながら、スムーズな支援が行えるように努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		送迎時に、保護者とコミュニケーションを取れるように努めている。	保護者からの相談・要望を拾えるように努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		県の監査を受け、適切な運営が出来るように努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			面談や打ち合わせの際にスキルアップできるように努めている。研修参加が出来るように職員配置を工夫出来るようにする。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		一人一人の特性を把握できるようにアセスしている。	事業所のアセスメントシートで聞き取りを行い、利用者・保護者との良好な関係性を築き支援できるようにしていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		市町村事業等を活用している。	特性に合わせた活動を幅広く実施していきたいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用者・職員にわかりやすく構造化できるようにしている。	多くの活動を実施することでマンネリ化を防げるようにしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○	個人活動はハード面で対応できるように努めている。	集団、個別活動を日課の中に取り入れられるように工夫していきたいと思っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		定例会の開催をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	日誌を記入しながら気づいた点を話すことはある。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録は取れている。記録を見ながら支援の検証、改善は行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			地域交流の機会提供は出来ていない。自立支援、日常生活の充実、創作活動等は出来ている。

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		対象者がいない。家族と連携を取って対応している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		随時、連携が取れるように努めている。	児童発達支援事業所から引継ぎしてもらっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	情報提供できる体制を取っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		療育等支援事業の利用。	困難ケースについては、専門機関と連携しながら対応しスキルアップ出来るように努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		交流も計画できるように努める。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		子ども部会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			保護者の方にお伝えしている。課題の整理が共通理解できていない部分もある為工夫が必要。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	個人での悩みなどには話を聞き対応している。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		定期的に開催出来るように努める。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情・相談について迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			2カ月に1回、お便りを発行して活動報告等を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個別の定期表配布を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		事業所独自で地域交流が出来るように努めます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			・緊急時対応、災害時の訓練が出来るように対応していきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年に1回の研修、その都度状況に応じて検討できるように努める。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○	保護者としっかりと確認を行い、個別計画に反映できるように努める。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○	アセスメントとでアレルギーの対応を確実に行えるようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			